

“配水の安全と豊潤を祈願” 第40回香川用水水口祭 香川用水二期事業の竣工記念碑除幕式 ～ 農業農村整備事業をPR ～

< 四国土地改良調査管理事務所 >

令和6年6月11日（火）、香川県三豊市財田町の香川用水記念公園（東西分水工）において、先人の遺徳を称えとともに配水の安全と豊潤を祈願する『香川用水水口祭』が、香川用水土地改良区の主催により開催されました。

讃岐平野では昔から苗代田の「水口」（みなくち：田に水を引かれる口）に御札を立てお供えをし、水への感謝と祈りを捧げる風習がありました。これにちなみ、早明浦ダムの水が吉野川から阿讃導水トンネルを経て、香川県に姿を見せる水端の香川用水東西分水工を「水口」に見立て、「水口祭」を斎行しています。

本年は香川用水の通水から50周年を迎え、水口祭の催行は40回目の節目となりました。

当日は、香川県知事ほか、関係する市町の首長と土地改良区理事長等とともに、中国四国農政局からも中国四国農政局長、四国土地改良調査管理事務所長が神事に参列し、玉串を奉納し配水の安全と豊潤を祈願した後、御神酒をトンネルの出口に注ぐと、噴水が約5mほどの高さに吹き上がりました。

続いて、昨年度完了した香川用水二期事業の竣工記念碑の除幕式が執り行われました。

式典の後、地元保存会による財田鉦踊り、財田町長野獅子による獅子舞や大野原靄王（りゅうおう）太鼓の奉納のほか、うどんの接待もあり大勢の人で賑わいました。

四国土地改良調査管理事務所では、中国四国農政局香川支局と連携して、香川用水と農業との関わり、みどりの食料システム戦略及び二期事業の改修工事状況等についてパネルで紹介するとともに、各種パンフレットや手作りの下敷きなどを配布し、農業農村整備事業のPR活動を行いました。



神酒奉灌



事業PRの様子



大野原靄王太鼓



除幕式



財田町長野獅子